

運用報告書（全体版）

第6期

（決算日：2019年12月17日）

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（設定日：2016年12月29日）
運用方針	この投資信託は、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行います。
主要運用対象	主として「SBI Bond スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」及び「FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。 デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。分配対象額の範囲は経費控除後の配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

SBIスリランカ短期国債ファンド （年2回決算型）

追加型投信／海外／債券

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBIスリランカ短期国債ファンド（年2回決算型）」は、2019年12月17日に第6期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

 **SBI Asset Management**

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<http://www.sbiasset.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分		期 騰 落		投 資 信 託 券 率 組 入 比	純 資 産 額
		税 分	配 金	騰 落	中 率		
	円		円		%	%	百万円
2期(2017年12月18日)	9,917		200		5.5	97.5	250
3期(2018年6月18日)	9,565		200		△1.5	98.8	245
4期(2018年12月17日)	8,874		200		△5.1	97.6	209
5期(2019年6月17日)	8,678		200		0.0	94.8	196
6期(2019年12月17日)	8,612		200		1.5	96.5	173

(注1) 期中騰落率は、各期末の基準価額(税込み分配金含む)を前期末基準価額(分配落)で除して算出したものです。

(注2) 当ファンドは主として「SBI Bond スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

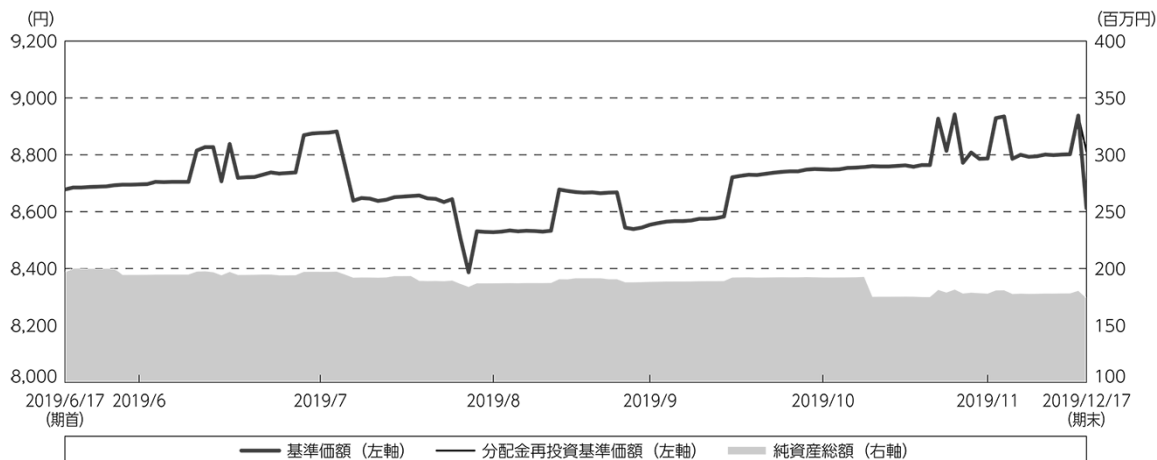
年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 券 率 組 入 比
		騰 落	率	
(期 首) 2019年6月17日	円 8,678		% -	% 94.8
6月末	8,696		0.2	96.2
7月末	8,877		2.3	97.0
8月末	8,528		△1.7	98.2
9月末	8,554		△1.4	98.0
10月末	8,749		0.8	98.4
11月末	8,787		1.3	93.9
(期 末) 2019年12月17日	8,812		1.5	96.5

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは主として「SBI Bond スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2019年6月18日から2019年12月17日まで）

○基準価額等の推移



期首：8,678円

期末：8,612円（既払分配金（税込み）：200円）

騰落率：1.5%（分配金再投資ベース）

- (注1) 当ファンドは主として「SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したとみなして計算したファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 分配金の再投資についてはお客様がご利用のコース等により異なります。また、ファンドの運用経過については、当ファンドのパフォーマンスを示したものであり、ファンドの購入価額により課税条件等が異なるため、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、期首（2019年6月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

スリランカ国債市場では、5月30日のスリランカ中央銀行の金融政策会合で、政策金利の0.5%の引き下げが決定されたことから、金利は低下（債券価格は上昇）基調ではじまりました。為替市場では、円が主要通貨に対して上昇した影響を受けてスリランカ・ルピー安となったことが重荷となり、基準価額の上昇幅は限定的となりました。7月に入ると、スリランカ・ルピーが円に対して上昇しました。スリランカ国債市場では、米国の利下げ期待などを背景に、金利は低下（債券価格は上昇）基調で推移しました。その後、8月の金融政策会合における0.5%の利下げを受けて、債券相場は安定推移となりましたが、為替市場で円が主要通貨に対して上昇する展開となり、スリランカ・ルピーに対しても上昇（円高／スリランカ・ルピー安）となったことから、当ファンドの基準価額は下落しました。10月に入ると、米国が利下げを実施し、7月以降で合計3回の利下げとなったことや、米中貿易交渉への期待感などから、スリランカ・ルピーを含むアジア通貨が堅調に推移

し、基準価額は上昇しました。11月16日のスリランカ大統領選挙では、親中派の前大統領の弟であるゴタバヤ・ラジャパクサ元国防次官が当選したものの、近隣諸国との関係強化の姿勢を示したことが金融市場で好感され、スリランカ・ルピーは主要通貨に対して上昇し、スリランカ国債市場も堅調に推移したことから、基準価額は上昇しました。当ファンドの基準価額は期を通じて+1.54%上昇（分配金再投資ベース）しました。

○投資環境

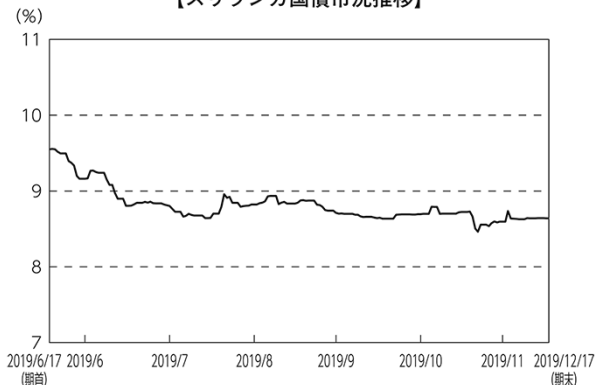
※以下のコメントの内容は、SBIボンド・インベストメント・マネジメント株式会社からのコメントを基にSBIアセットマネジメントが編集したものです。

【スリランカ国債市況】

対象期間を通じて、スリランカ短期国債利回りは低下（債券価格は上昇）基調となりました。

スリランカでは、2019年4月のイースター（復活祭）の最中に教会と高級ホテルで爆発が起き、多数の死傷者が発生しました。スリランカ経済は、国内総生産（GDP）の約5%を観光収入に依存していることから、テロの影響は経済にマイナスの影響を与えるものと考えられ、スリランカ中央銀行は5月と8月に計2回の利下げを実施しました。

【スリランカ国債市況推移】



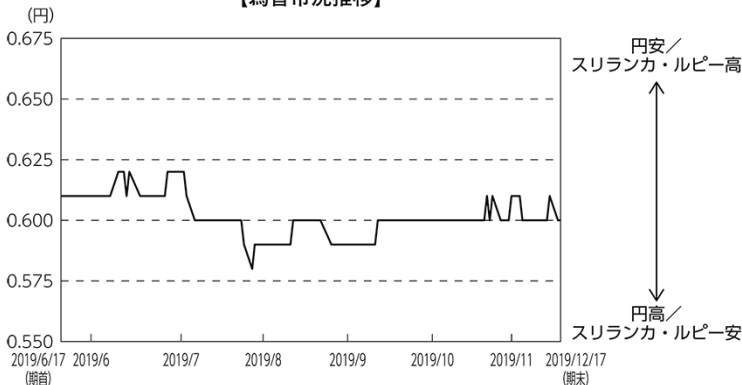
出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
※国債利回りは2年国債利回りを使用しています。

【為替市況】

スリランカ・ルピーは円に対して下落する展開となりました。

為替市場では、スリランカ・ルピーを含む新興国通貨が、香港情勢の不透明感や株式市場の不安定さを背景に、軟調な展開となりました。8月以降は、米国の利下げ効果への期待感から新興国市場へ資金が流入する展開となり、スリランカ・ルピーは円に対して上昇しました。

【為替市況推移】



※為替レートは、一般社団法人投資信託協会が発表する対顧客電信売買相場仲値を採用しています。

○当ファンドのポートフォリオ

<当ファンド>

主として「SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

<SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）>

スリランカの短期国債等（国債、政府保証債、政府機関債）及び国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いました。

なお、直近11月末時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。

保有債券の属性情報

平均残存期間（年）	1.8
平均修正デュレーション（年）	1.6
平均クーポン（％）	10.11
平均直接利回り（％）	9.93
平均最終利回り（％）	8.88
平均格付け	B

資産別構成

債券	99.3%
現金等	0.7%

(注) 現金等には信託報酬及び為替ヘッジに伴う含み損益等も含まれます。

(注1) 平均格付とは、基準日時点での本ファンドの組入投資信託証券にかかる信用格付を加重平均したものです。そのため、本ファンドにかかる格付ではありません。

格付はS&P、ムーディーズ、フィッチの高いものを使用しています。

(注2) デュレーションとは、債券投資におけるリスク度合いを表す指標です。金利変動に対する債券価格の反応度（リスクの大きさ）を表しています。なお、デュレーションが長いほど債券価格の反応は大きくなります。

(注3) 最終利回りは、債券購入日から償還日までに得る受取利息や償還差損益（額面と購入価額の差）等、合計額が投資元本に対して1年当たりどの程度となるかを示すものです。

(注4) クーポンは額面金額に対する単年での利息の割合を表します。

(注5) 平均直接利回りは平均時価単価に対する平均クーポンの割合です。

※上表については、SBI債券・インベストメント・マネジメント株式会社の資料を基に、SBIアセットマネジメントが作成しています。

<FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）>

主要投資対象である「短期金融資産 マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れ、これを維持しました。

「短期金融資産 マザーファンド」において、日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常態化するなか、国債と比較してより利回りの高い非国債セクターの保有短期債の満期償還以降は、コールローン等の比率を高めた運用を行い、市場運用ができない資金は受託銀行の金銭信託へ預け入れました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは主としてSBI bonds・インベストメント・マネジメント株式会社が実質的な運用を行う「SBI bonds スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

○分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案し、1万口(元本10,000円)当たり200円(税込み)の収益分配を行うことといたしました。

なお、分配にあてずに信託財産内に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第6期
	2019年6月18日～ 2019年12月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	200 2.270%
当期の収益	200
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	248

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の見通しと運用方針

<当ファンド>

引き続き、「SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）」への投資を通じて、実質的にスリランカの短期国債等に投資し、残存期間の短い債券を中心にポートフォリオを構築することで金利変動に伴う価格変動リスクの低減をはかり、安定したインカムゲインの確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

<SBI債券 スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）>

当該投資信託を運用している、SBI債券・インベストメント・マネジメント株式会社は、以下のようコメントをしています。

為替市場においては、スリランカ・ルピーは対円で底堅く推移するものと思われま。11月16日のスリランカ大統領選挙で、親中派の前大統領の弟であるゴタバヤ・ラジャパクサ元国防次官が当選したものの、近隣諸国との関係強化の姿勢を示したことが金融市場では好感されています。また、国際通貨基金（IMF）が引き続きスリランカを支援することを決定していること、スリランカ中央銀行がスリランカ・ルピーの下落局面での自国通貨買い介入を示唆していることなども、スリランカ・ルピーを下支えする材料になると思われま。

債券市場においては、スリランカ短期国債利回りはレンジ内で推移することが見込まれます。スリランカ政府は、スリランカ経済の構造改革を進めることで、IMFからの引き続きの支援を得る方針です。

こうした環境下における当ファンドのパフォーマンスは、短期的には為替市場の影響を受けて変動する局面も想定されるものの、長期的にはスリランカ短期国債の相対的に高いインカム収益を中心にファンドの収益が積み上がっていくとみています。運用においては、引き続き主にスリランカ現地通貨建て短期国債での運用を継続する方針です。

<FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）>

主として、短期金融資産 マザーファンドの受益証券への投資を通じて、わが国の短期金融資産等（短期公社債及び短期金融商品を含みます。）を中心に投資を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年6月18日～2019年12月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 26	% 0.300	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(5)	(0.055)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(20)	(0.231)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	35	0.399	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(10)	(0.116)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	(25)	(0.283)	開示資料等の作成・印刷費用等
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	61	0.699	
期中の平均基準価額は、8,698円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

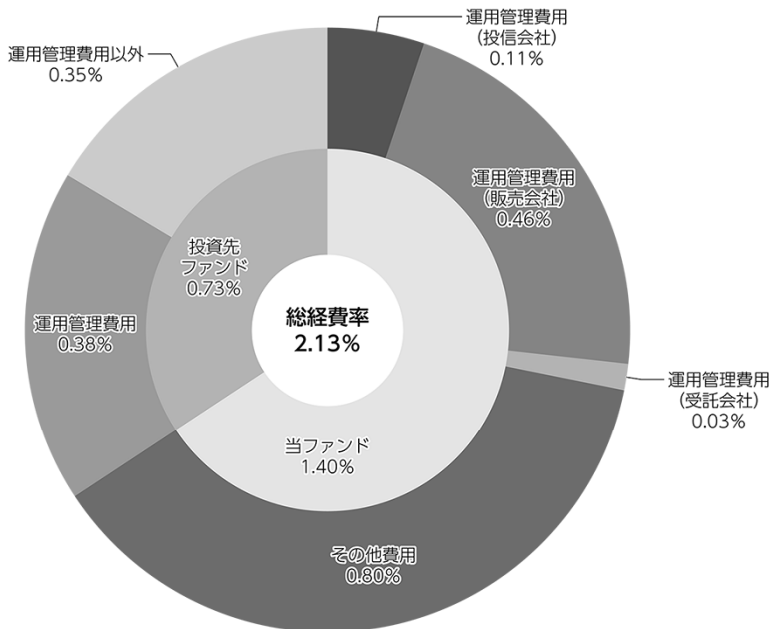
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.13%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.13
①当ファンドの費用の比率	1.40
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.38
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.35

- (注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算値です。
(注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
(注4) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。
(注5) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
(注6) ①と②・③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年6月18日～2019年12月17日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	SBI bonds スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)	7,130,930	5,912千円	27,754,314	23,000千円

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年6月18日～2019年12月17日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
投資信託証券	百万円 5	百万円 5	% 100.0	百万円 23	百万円 23	% 100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

(2019年12月17日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	柄	期首(前期末)	当期末		
		口数	口数	評価額	比率
SBI bonds スリランカ短期国債ファンド(適格機関投資家専用)		220,607,915	199,984,531	166,667千円	95.9%
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)		1,004,319	1,004,319	993	0.6
合計		221,612,234	200,988,850	167,660	96.5

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2019年12月17日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	167,660千円	93.3%
コール・ローン等、その他	12,029	6.7
投資信託財産総額	179,689	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年12月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	179,689,708
コール・ローン等	12,029,128
投資信託受益証券(評価額)	167,660,580
(B) 負債	5,887,657
未払収益分配金	4,036,060
未払解約金	533,101
未払信託報酬	561,468
未払利息	32
その他未払費用	756,996
(C) 純資産総額(A-B)	173,802,051
元本	201,803,038
次期繰越損益金	△ 28,000,987
(D) 受益権総口数	201,803,038口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,612円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

期首元本額	226,757,044円
期中追加設定元本額	15,669,008円
期中一部解約元本額	40,623,014円

○損益の状況 (2019年6月18日～2019年12月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	5,464,623
受取配当金	5,468,152
支払利息	△ 3,529
(B) 有価証券売買損益	△ 1,519,276
売買益	304,393
売買損	△ 1,823,669
(C) 信託報酬等	△ 1,318,477
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,626,870
(E) 前期繰越損益金	△20,434,299
(F) 追加信託差損益金	△ 6,157,498
(配当等相当額)	(1,772,392)
(売買損益相当額)	(△ 7,929,890)
(G) 計(D+E+F)	△23,964,927
(H) 収益分配金	△ 4,036,060
次期繰越損益金(G+H)	△28,000,987
追加信託差損益金	△ 6,157,498
(配当等相当額)	(1,772,392)
(売買損益相当額)	(△ 7,929,890)
分配準備積立金	3,237,525
繰越損益金	△25,081,014

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(4,146,146円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(1,772,392円)および分配準備積立金(3,127,439円)より分配対象収益は9,045,977円(1万口当たり448円)であり、うち4,036,060円(1万口当たり200円)を分配金額としております。

<ご参考>

主要投資対象の投資信託証券の概要

名称	SBI ボンド スリランカ短期国債ファンド (適格機関投資家専用)
形態	国内投資信託
運用目的・ 運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・スリランカの短期国債等(国債、政府保証債、政府機関債)及び国際機関債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。 ・債券の組入比率は、原則として高位を保ちます。 ・外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。 ・重大な投資環境の変化が生じた場合には、信託財産の保全の観点から、委託会社の判断により主要投資対象への投資を大幅に縮小する場合があります。 ・資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合は、転換社債の転換及び新株予約権(転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限ります。)の行使等により取得したものに限り、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・投資信託証券(上場投資信託証券を除きます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
収益分配	<ul style="list-style-type: none"> ・分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。 ・原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
信託期間	原則として無期限(設定日:2016年12月30日)
決算日	毎月7日(休業日の場合は翌営業日)
信託報酬	純資産総額に対し年0.396%(税抜:年0.36%)
委託会社	SBI ボンド・インベストメント・マネジメント株式会社
受託会社	三井住友信託銀行株式会社

SBI ボンド スリランカ短期国債ファンド（適格機関投資家専用）の状況

2019年12月17日現在入手している最新（2019年11月7日現在）の状況です。

（１）【貸借対照表】

	(単位：円)	
	前期末 (2018年11月7日現在)	当期末 (2019年11月7日現在)
資産の部		
流動資産		
預金	—	18,802,068
コール・ローン	61,027,328	42,213,478
国債証券	758,610,778	644,778,585
未収利息	20,243,028	5,561,259
前払費用	1,925,042	4,519,530
その他未収収益	147,228	103,982
流動資産合計	841,953,404	715,978,902
資産合計	841,953,404	715,978,902
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	4,261,245	3,855,752
未払受託者報酬	21,698	19,896
未払委託者報酬	238,678	218,842
未払利息	150	23
その他未払費用	21,970	126,231
流動負債合計	4,543,741	4,220,744
負債合計	4,543,741	4,220,744
純資産の部		
元本等		
元本	946,943,382	856,833,912
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（△）	△109,533,719	△145,075,754
(分配準備積立金)	21,210,382	29,629,260
元本等合計	837,409,663	711,758,158
純資産合計	837,409,663	711,758,158
負債純資産合計	841,953,404	715,978,902

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前期間		当期間	
	自 至	2017年11月8日 2018年11月7日	自 至	2018年11月8日 2019年11月7日
営業収益				
受取利息		88,860,124		62,381,339
有価証券売買等損益		3,250,176	△	420,438
為替差損益		△117,844,200	△	58,539,507
その他収益		262,692		183,375
営業収益合計		△ 25,471,208		3,604,769
営業費用				
支払利息		39,994		16,090
受託者報酬		321,157		241,662
委託者報酬		3,532,627		2,658,114
その他費用		3,573,731		2,413,270
営業費用合計		7,467,509		5,329,136
営業利益又は営業損失 (△)		△ 32,938,717	△	1,724,367
経常利益又は経常損失 (△)		△ 32,938,717	△	1,724,367
当期純利益又は当期純損失 (△)		△ 32,938,717	△	1,724,367
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は 一部解約に伴う当期純損失金額の分配額 (△)		505,802	△	120,732
期首剰余金又は期首欠損金 (△)		△ 18,752,696	△	109,533,719
剰余金増加額又は欠損金減少額		13,793,768		18,158,917
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は 欠損金減少額		13,793,768		18,158,917
剰余金減少額又は欠損金増加額		3,688,662		4,880,438
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は 欠損金増加額		3,688,662		4,880,438
分配金		67,441,610		47,216,879
期末剰余金又は期末欠損金 (△)		△109,533,719	△	145,075,754

(3) 有価証券明細表

株式以外の有価証券

種類	通貨	銘柄名	利率 (%)	償還日	券面総額	評価額	備考
国債証券	スリランカ ・ルピー	11SRI LANKA GVT 210801	11.00	2021/8/1	450,000,000	466,651,395	
		9.45SRI LANKA GVT 211015	9.45	2021/10/15	600,000,000	607,979,580	
	スリランカ・ルピー 小計				1,050,000,000	1,074,630,975 (644,778,585)	
合計					644,778,585 (644,778,585)		

(注1) 小計の欄における()内の金額は、邦貨換算額であります。

(注2) 合計金額欄の記載は、邦貨額であります。()内の金額は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入時価比率	合計金額に 対する比率
スリランカ・ルピー	国債証券 2銘柄	90.59%	100.00%

(注) 組入時価比率とは、純資産額に対する比率であります。

■ F O F s 用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用）の状況

2019年12月17日現在入手している最新（第9期決算日（2019年9月25日現在））の状況です。

■ 1 万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2018年9月26日~2019年9月25日)		
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a)信託報酬＝〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,907円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投 信 会 社)	14	0.140	
(販 売 会 社)	(11)	(0.108)	
(受 託 会 社)	(1)	(0.011)	
(b) そ の 他 費 用	(2)	(0.022)	(b)その他費用＝ $\frac{〔期中のその他費用〕}{〔期中の平均受益権口数〕} \times 10,000$ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託預入に係る手数料等
(監 査 費 用)	1	0.008	
(そ の 他)	(1)	(0.005)	
合 計	(0)	(0.003)	
	15	0.148	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 組入資産の明細

親投資信託残高

	当 期 首 (前 期 末)		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
短 期 金 融 資 産 マ ザ ー フ ァ ン ド	千口	千口	千口	千円
	9,085	113,922	115,391	

(注) 親投資信託の当期末における受益権総口数は8,727,644千口です。

■投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
短期金融資産 マザーファンド	千円 115,391	% 99.9
コール・ローン等、その他	144	0.1
投資信託財産総額	115,535	100.0

■資産、負債、元本および基準価額の状況 (2019年9月25日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	115,535,411円
コール・ローン等	141,673
短期金融資産 マザーファンド(評価額)	115,391,907
未 収 入 金	1,831
(B)負 債	85,780
未 払 信 託 報 酬	81,556
そ の 他 未 払 費 用	4,224
(C)純 資 産 総 額(A - B)	115,449,631
元 本	116,655,179
次 期 繰 越 損 益 金	△1,205,548
(D)受 益 権 総 口 数	116,655,179口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	9,897円

■損益の状況 (自2018年9月26日至2019年9月25日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 取 益	△2円
支 払 利 息	△2
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△61,285
売 買 益	188
売 買 損	△61,473
(C)信 託 報 酬 等	△115,175
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△176,462
(E)前 期 繰 越 損 益 金	△33,546
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	△995,540
(配 当 等 相 当 額)	(5,542,046)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△6,537,586)
(G)計 (D + E + F)	△1,205,548
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△1,205,548
追 加 信 託 差 損 益 金	△995,540
(配 当 等 相 当 額)	(5,539,644)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△6,535,184)
分 配 準 備 積 立 金	94,278
繰 越 損 益 金	△304,286

(注 1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注 2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注 3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

当ファンド（FOFs用短期金融資産ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「短期金融資産マザーファンド（第12期決算日（2019年9月25日現在））」の組入資産の内容等の状況

■1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2018年9月26日~2019年9月25日)		
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 0	% 0.005	(a) その他費用 = $\frac{[\text{期中のその他費用}]}{[\text{期中の平均受益権口数}]} \times 10,000$ その他は、金銭信託預入に係る手数料等
(そ の 他)	(0)	(0.005)	
合 計	0	0.005	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■組入資産の明細

当期末における該当事項はありません。

※日銀の金融緩和継続により短期国債のマイナス金利が常態化するなか、国債と比較してより利回りの高い非国債セクターの保有短期債の満期償還以降は、コールローン等の比率を高めた運用を行い、市場運用ができない資金は受託銀行の金銭信託へ預け入れました。

■投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 8,843,080	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	8,843,080	100.0

■資産、負債、元本および基準価額の状況 (2019年9月25日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	8,843,080,844円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	8,843,080,844
(B)負 債	3,259,864
未 払 解 約 金	3,241,831
未 払 利 息	15,653
そ の 他 未 払 費 用	2,380
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	8,839,820,980
元 本	8,727,644,976
次 期 繰 越 損 益 金	112,176,004
(D)受 益 権 総 口 数	8,727,644,976口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C / D)	10,129円

■損益の状況 (自2018年9月26日至2019年9月25日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	△15,461,057円
受 取 利 息	625,332
支 払 利 息	△16,086,389
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△610,000
売 買 損	△610,000
(C)そ の 他 費 用	△816,874
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△16,887,931
(E)前 期 繰 越 損 益 金	110,872,101
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	635,152,092
(G)解 約 差 損 益 金	△616,960,258
(H)計 (D + E + F + G)	112,176,004
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	112,176,004

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注3) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。